



令和 7 年 5 月 12 日

関係者様各位

一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団
日本バプテスト病院
理事長・病院長 尼川龍一

日本バプテスト病院の分娩取扱いおよび NICU 診療終了のお知らせ

謹啓

陽春の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、日本バプテスト病院の運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび日本バプテスト病院では、慎重な検討を重ねた結果、令和 7 年 9 月末日をもちまして分娩取扱いならびに新生児集中治療室(NICU)の診療を終了することとなりました。

当院開設時から産科および新生児医療について、永く当院の医療の軸として継続して参りました。これもひとえに皆様のご支援、ご厚情の賜物と感謝いたしております。

【終了の理由について】

本決定に至りました背景には、急速に進行する少子化に伴う分娩件数および NICU 入院数の減少に加え、診療報酬をはじめ自治体から十分な支援が得にくく、これらの状況を総合的に鑑み、今後も安定した医療提供体制を維持するため、誠に遺憾ながら当該診療の終了を決定いたしました。

【対象および対応について】

分娩取扱いおよび NICU 診療の終了にあたっては、令和 7 年 9 月末日までに分娩予定の患者様につきましては、これまで通り当院産科にて責任を持って診療を行ってまいります。

一方、それ以降に分娩予定の患者様に関しては、他の医療機関への転院を順次ご案内させていただいております。

また、母体搬送や新生児搬送の受け入れにつきましても、9 月末日までに NICU 退院が見込まれる症例に関しては、引き続き責任を持って診療を継続する所存です。

日頃よりご協力をいただいております周辺の周産期医療機関の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

分娩および NICU 診療の終了に伴う個別の対応につきましては、随時ご相談させていただきます。ご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

【小児科の今後の方針について】

引き続き小児科の一般外来および入院診療を継続し、左京区を中心とした地域の小児二次医療に力を注いでまいります。特に、医療的ケアを必要とするお子さまの在宅医療支援や、

小児リハビリテーションの充実にも努めてまいります。

【産婦人科の今後について】

今後は一般婦人科診療を中心に、一部希望者の妊婦健診や婦人科検診などを継続し、地域の医療ニーズに力を注いでまいります。子宮鏡手術や経腔的な小手術はひきつづき対応可能ですが、腹腔鏡手術や開腹手術は9月末までとさせていただきます。

最後になりますが、患者様ならびに関係機関の皆様にも多大なるご負担をおかけしますことを心よりお詫び申し上げます。

とりわけ、永年にわたり当院の周産期医療に対して格別のご支援とご指導を賜りましたことに、改めて心より深く感謝申し上げます。

皆様のご厚情とご協力なくして、これまでの診療の継続は叶わなかったことを、職員一同、深く胸に刻んでおります。

今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白